

第18回学校水泳研究会 2018年6月2日(土) 会場：鳴門教育大学

実践報告

児童が主体的・対話的に学び合い、
課題解決を図る水泳授業を考える
～第5学年「8かきストロークゲーム」～



香川県高松市立十河小学校
教諭 三木 寿人
mikihide.1006@gmail.com

今日の流れ

1. はじめに
2. 高松市の水泳授業について
3. 本実践について
4. おわりに

1 はじめに

前任校について（高松市立高松第一学園）

平成22年4月に近隣の小・中学校が統合し、四国で最初の施設一体型小中一貫教育校として開校した。



小学校（全校生）：約660名
中学校（全校生）：約330名



奥：小プール（最深約1.0m）
手前：大プール（最深約1.5m）
※1～4レーンは水深調整台を設置し、水深を約1.3mにしている

2 高松市の水泳授業について

- ・ 6月～7月にかけて実施（約1ヶ月間）している
- ・ 能力別指導（コースを分ける）、または教師の一方的な指導（特に技能下位児に対する）によるものが一部見られる

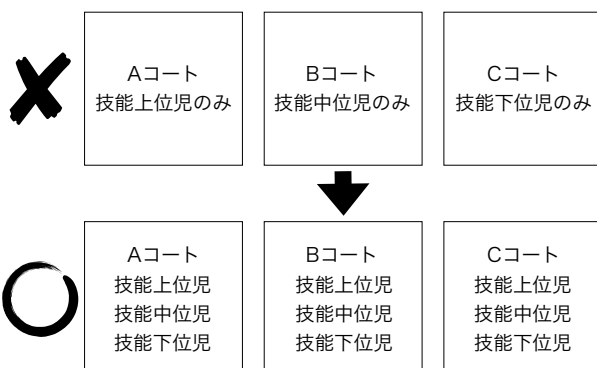


結果として

- ▲全ての児童が、自ら課題を持って学ぶ機会が少なく、主体的な学びが保証されにくい（やらされている感、上位児の意欲低下など）
- ▲能力別指導によって、児童同士の「かかわり」が少なく、対話的な学びが保証されにくい
- ▲教師による一方的な指導によって、児童自らが課題解決する場が少なくなり、深い学びが保証されにくい

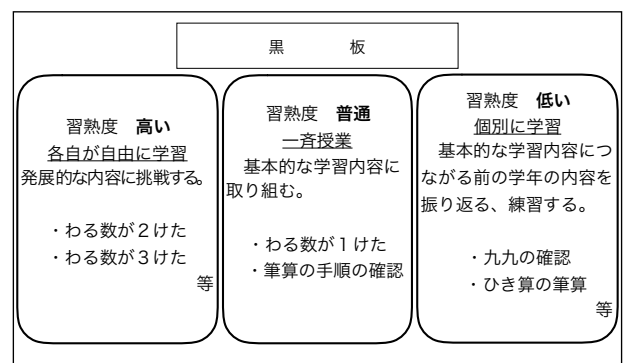
他領域で例えると

・ 体育科「球技」ゴール型バスケットボール



他教科で例えると

・ 算数科「1けたでわるわり算の筆算」



これまでの高松市の実践について
～クロールにおける系統性を中心に～
H29 10月27日
第55回中・四国小学校体育研究大会（香川大会）

H29	2年生「水遊び」	チャレンジコース
H28	5年生「水泳」	8かきシンピック
H27	4年生「浮く・泳ぐ運動」	5かきシンピック
H26	1年生「水遊び」	あおくんゆうびん

これまでの高松市の実践について
～クロールにおける系統性を中心に～
H29 10月27日
第55回中・四国小学校体育研究大会（香川大会）

年度	学年	ねらい	主教材	成果
29	2	遊びを通して、自ら進んで水中で目を開けたり、浮いたりすることができる。	チャレンジコース	遊び（宝取りゲーム）を自分事として楽しんで取り組み、楽しく活動する中で、自然に体を浮かせられるようになった。
28	5	クロールの呼吸のタイミングを見つける。	8かきシンピック	8かきで進める距離を伸ばす練習だけをしたことで、呼吸するタイミングをつかみ、ほとんどの児童が25m以上泳げるようになった。
27	4	クロールにおけるストロークの重要性に気付く。	5かきシンピック	ほとんどの児童が手を大きく強くかくようになった。1かきを大切にすることで、理想的なストリームラインで泳げるようになった。
26	1	水遊びを通して呼吸の重要性に気付く。	あおくんゆうびん	バブリングの必要性、吸うためには吐くことの必要性を感じられた。

3 本実践について

- ・ 期間 平成29年6月19日～7月13日
- ・ 対象 第5学年 37名
- ・ 単元名 「8かきストロークゲーム」
(水泳 クロール)

3 本実践について

○児童の実態について
①質問紙調査から（実践前）

好き	好きではない
31	6

理由

好き	好きではない
<ul style="list-style-type: none"> ・泳ぐのが楽しいから ・水がとてめ気持ちよくて、泳ぐと楽しいから ・いつもはできない（泳ぐこと）ができるから ・あまり得意ではないけど、目標に向かって達成できたら嬉しいから ・友だちと一緒に学習できるし、困った時教えてくれるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・息継ぎができないから ・泳げないから/泳ぐのが苦手だから ・鼻の中に水が入って痛くなるから ・泳ぐのが嫌いだから

3 本実践について

○児童の実態について
①泳力調査から（実践前）

0～10m	11～20m	21～25m	見学
4	7	18	8

▲気になる児童の様子

- ・水に顔をつけてもすぐに顔を拭う
- ・両足を床から離して、体を浮かすことができない
- ・息継ぎができず、がむしゃらに手をかいて5mすぎて立つ

3 本実践について

○教材設定について
①技能差に関係なく、また能力別のコース指導でもない、全ての児童が学習に意欲的に取り組めるような教材を用いることで泳力の向上を図る。
②毎時間、導入時に水遊び的な運動や浮く運動（連続だるま浮き）を取り入れることで、主運動に繋がる感覚を身に付ける。
③浮くことに苦手意識がある児童には補助具の使用を促す。

↓

『8かきで泳げる距離を伸ばしていくにはどうすればいいのだろうか』
共通の学習課題を設定する

3 本実践について

○指導について

- ・毎時間のはじめに感覚づくりの運動として、水中じゃんけんや水中歩行、だるま浮き→連続だるま浮き（1分間）を取り入れる。
- ・児童の技能差が均等になるような異質のグループを編成し、共通の学習課題の解決に向けた学び合いをねらう。（1グループ7～8名 合計5グループ）
- ・毎時間の終末に自己記録に挑戦する時間を確保し、本時の学びが試せるようにする。 → 記録集計カードの工夫
- ・浮くことに苦手意識がある児童には、補助具の使用を認め、浮くことへの感覚づくりを最優先にした。

3 本実践について

・単元について

○目標

- ・クロールの効率的な手や足の動かし方で、2.5mを楽に泳ぐことができる。
- ・水特有の感覚を経験することを通して、クロールの手や足の効率的な動かし方が分かる。
- ・積極的にグループの友だちとお互いの動きを見合って、動きの様子を伝え合い、課題解決を図ろうとする。
- ・自分や友だちの安全に気をつけながら、意欲的に学習に取り組む。

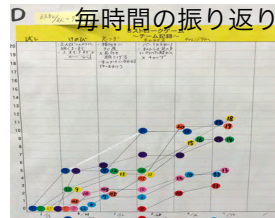
○構成（全6時間）

学習内容	児童の意識の流れ	教師の支援や評価
1 レディネスを調べ、学習の流れをとらえる。	8かきでもっと速く進むにはどうすればいいのだからう。	・次時からの学習活動で用いるグループを編成するため、児童の8かきにおける泳力を調べる。
2 けのびのポイントを見つける。	けのびは、鉛筆のように指先は細長く、体は一直線にするとスムーズ進むよ。	・息継ぎや8かきできずにおわる児童がいてもよい。また、息継ぎには入れない。
3 手と足の推進力を比べ、効率的な手のかき方を見つける。	手の方がよく進むから、手のかきが上手になれば8かきの記録も伸ばせそうだよ。	・8回手をかきとくと、8回キックするときの速み具合を比較させる。（補助具の使用）
4 より楽に長く泳ぐための息継ぎの仕方を見つける。	1かきを丁寧に深にかくには、息継ぎが必要だね。息継ぎは横を向いてすると良さそうだよ。	・チームの記録を伸ばすために、効率的な息継ぎが必要になることには付けさせる。
5～6 友だちと泳ぎを見合いながら、自己記録に挑戦する。	友だちとお互いに泳ぎを見合うことで記録が伸びたよ。	・お互いに泳ぎを見合わせるよう、見る視点やポイントを伝える。 ・何度も自己記録に挑戦する時間を確保する。

3 本実践について



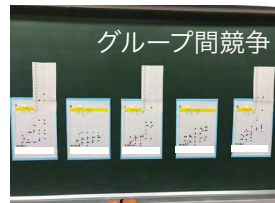
感覚づくり



毎時間の振り返り



動きを見合う



グループ間競争

3 本実践について



感覚づくり

3 本実践について



動きを見合う

3 本実践について

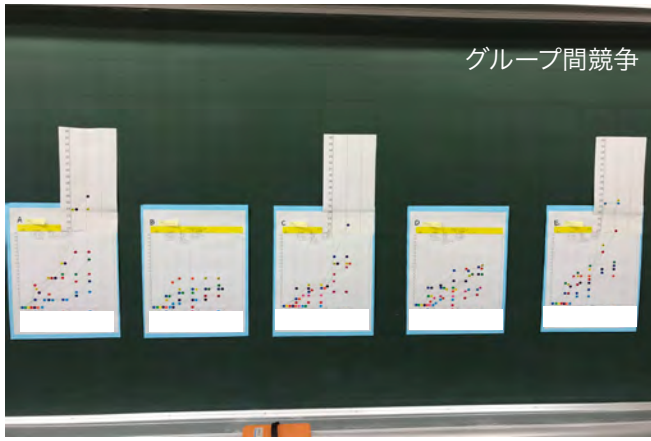


毎時間の振り返り

学習内容 (児童の気付き)

個人の記録 (伸びた距離)

3 本実践について



3 本実践について



3 本実践について



4 おわりに

○成果

質問紙調査から（単元後）



好き	好きではない
37	0



好き

- ・8かきで13m→18mになったから。
- ・友だちが「頑張って」と励ましてくれたから。
- ・始めよりも上手くなっていたから。
- ・友だちや先生のアドバイスのおかげでクロールを楽に泳げるようになったから。
- ・8かきで何mいけるかという授業をしたから。
- ・自分のベスト以上泳げるようになってとても嬉しいから。

4 おわりに

○成果

泳力調査から（単元後）

0～10m	11～20m	21～25m	見学
2	2	29	4

○児童の様子



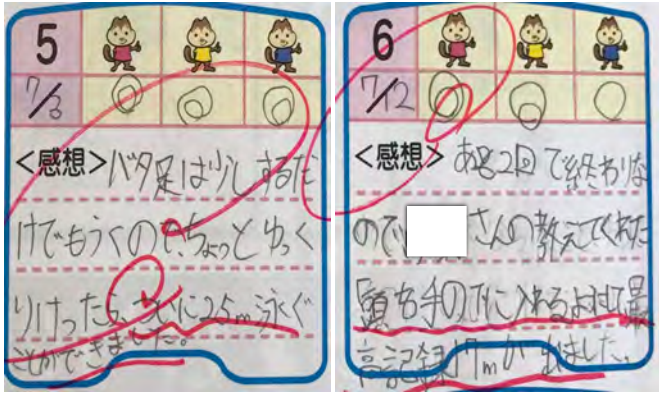
4 おわりに

○成果（児童の振り返りから）



4 おわりに

○成果（児童の振り返りから）



4 おわりに

▲課題

- ・全ての児童が効率的な手のかき方などを使って25mを泳ぐことはできなかった
- ・児童のICTや写真の活用による、より具体的な相互評価
- ・キャッチアップ→より運動効率の良いクロールへ

◎検討

- ◎ストローク動作による推進、ローリングへの気付きがあった
- ・より客観的な評価方法の検討
- ◎検討
- ・5・6学年「安全確保につながる運動」の実践
- ・本実践を「平泳ぎ」につなげる

第18回学校水泳研究会 2018年6月2日(土) 会場：鳴門教育大学

実践報告

児童が主体的・対話的に学び合い、
課題解決を図る水泳授業を考える
～第5学年「8かきストロークゲーム」～



香川県高松市立十河小学校
教諭 三木 寿人
mikihide.1006@gmail.com